



TITLE:

[訂 正] 小児睾丸腫瘍の2例と本邦小
児睾丸腫瘍 249症例の統計的考察
和歌山赤十字病院泌尿器科(部長
1三国友吉) 三国

AUTHOR(S):

三国, 友吉; 北川, 道夫; 森本, 鎮義; 宮崎, 善久

CITATION:

三国, 友吉 ...[et al]. [訂 正] 小児睾丸腫瘍の2例と本邦小児睾丸腫瘍
249症例の統計的考察 和歌山赤十字病院泌尿器科(部長1三国友吉) 三国.
泌尿器科紀要 1982, 28(4)

ISSUE DATE:

1982-04

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/123063>

RIGHT:

論 文 の 訂 正

本誌28巻4号453～468頁の三国友吉・ほか4名の論文「小児睾丸腫瘍3例と本邦小児睾丸腫瘍250症例の統計的考察」について、三国氏より症例の削除と変更の依頼がありました。これはその後の検索により診断の誤りが確認されたためです。

当編集部ではこの要望に基づき以下のごとき三国氏によって執筆された訂正理由と訂正文および当編集部によって作成したタイトルと訂正表が載せてあります。タイトルおよび訂正表は切りとって本論文に貼っていただきたく思います。

訂 正 理 由

本論文の第3例(P.456)の記述文において、これとともに、その右半部には非定型的な endodermal sinus structure の像1個が見られ、teratoyolk sac carcinoma の像を示していると記述し、また Fig. 6 (p. 456) の説明文では、“奇形腫と小児型胎生期癌”と題し、×印部に非定型的なエンドダーマル・サイナス・構造を見ると記述したが、これらの像はいずれもエンドダーマル・サイナス構造ではなく、複雑な形の嚢腫の像と判断され、したがって本症例は一応2個の嚢腫を伴った睾丸の奇形腫と診断されるが、当時のカルテおよび摘出標本は紛失しており、この診断を確認することは不可能であるので、本症例は、これを削除する。このため本論文を以下のごとく訂正します。

訂 正 文

453頁 標題の3例を2例に、250例を249例にする。

上から6行目 3 CASES を 2 CASES に

“ 7行目 250 CASE を 249 CASES に

“ 14行目 Three を Two に

“ 31行目 250を 249に訂正し、and を抹消する。

454頁左

上から7行目 3例を 2例に(2カ所あり)

“ 11行目 3例を 2例に、250症例を 249症例に

454頁 Fig. 2 の写真文

×印部にエンド・ダーマルの・をとりさる。エンドダーマルとする。

サイナス・構造の・をとりさり、その部に様をいれる。

サイナス様構造となる。

454頁右

上から10行目 endodermal sinus structure 様の像2個が見られる (Fig. 2)

455頁 Fig. 4 の説明文

エンドダーマル・サイナス・構造をエンドダーマル・サイナス構造に

467頁下から6行目

yolk sac carcinoma の発生を yolk sac carcinoma 各1例の発生に

467頁右

上から19行目 自験3症例を 自験2症例に変更します。